

著作権法第31条（図書館等における複製等）に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. この条項にいう「図書館等」には大学図書館は含まれない。
2. 図書館で複製が可能な目的には、調査研究だけでなく日常生活におけるあらゆる目的が含まれる。
3. 図書館の所蔵資料のうち、よく利用される資料については、あらかじめ複製物を作成しておいてよい。
4. 図書館資料の複製は、利用者1人につき、5部まで提供可能である。
5. 近年、著作権法第31条が改正され、国立国会図書館は事前登録した個人に対し、権利者の許諾なく、デジタル化した絶版等資料のデータを直接送信可能となった。

〔正答番号〕 1 2 3 4

日本図書館協会が作成した「図書館における障害を理由とする差別の解消の推進に関するガイドライン」では、障害者に対する不当な差別的取扱いに当たる例などが具体的に示されている。次の記述A～Dはいずれもガイドライン中で示されている具体例であるが、このうち、障害者に対する不当な差別的取扱いに当たる例のみを全て選んでいるのはどれか。

- A. 障害者に対して、来館に際して通訳者や家族の同行を求める。
- B. 手話通訳者の手配ができないことを理由に、障害者が図書館における催しに参加するのを断る。
- C. 個々の配慮にそれなりの時間と人数を要する利用者に対し、事前に来館日時の連絡を求める。
- D. 手話通訳者などの派遣手続のため、講演会の申込み締切りを一般よりも前にする。

- 1. A
- 2. A, B
- 3. A, C
- 4. B, C, D
- 5. C, D

〔正答番号〕 1 3 4 5

次の記述A～Cは、児童文学及び図書館の児童サービスに関する資料のタイトルとその解題である。記述と著者名をいずれも正しく組み合わせているのはどれか。

- A. 『子どもと本の世界に生きて』（児童図書館員である著者が、自らの半生と、児童図書館員の仕事について分かりやすく語った書）
- B. 『本・子ども・大人』（子どもにどのような本を与えればよいかについて、大人の目線で教訓的な本ばかりを与えないようにという意図で書かれた書）
- C. 『子どもの図書館』（自宅に開いた「かつら文庫」での実践報告をまとめ、海外の児童図書館サービスにも触れた書）

A	B	C
1. 石井桃子	松岡享子	小河内芳子
2. 小河内芳子	石井桃子	松岡享子
3. 松岡享子	ポール・アザール	小河内芳子
4. アイリーン・コルウェル	ポール・アザール	石井桃子
5. ポール・アザール	アイリーン・コルウェル	石井桃子

〔正答番号〕 1 2 3 5

『日本十進分類法新訂10版』(NDC)の分類作業に関する次の文中のA～Cの{ }内からいずれも妥当なものを選んでるのはどれか。

分類作業とは、対象資料のA { ア. 階層構造  
イ. 主題分析 } により把握した主題を最も的確に示す分類記号を付与することである。複雑な主題の場合は、その主題を十分に表現するために複数の主題要素各々に対応した分類記号の組合せが必要となるのが一般的である。しかし、B { ア. 分析合成型分類法  
イ. 列挙型分類法 } であるNDCでは、原則として細目表の分類記号同士を組み合わせることはしない。細目表から対象資料の主題を代表する一つの分類記号を選択することが基本となる。したがって、それを合理的に首尾一貫して行うための作業指針となるC { ア. 統制語彙  
イ. 分類規程 } に留意しなければならない。

- |    | A | B | C |
|----|---|---|---|
| 1. | ア | ア | イ |
| 2. | ア | イ | ア |
| 3. | イ | ア | ア |
| 4. | イ | イ | ア |
| 5. | イ | イ | イ |

〔正答番号〕 1 2 3 4

大学の図書館について定めている大学設置基準に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 各大学の図書館に対し、NACSIS-CAT/ILLへ参加するものとする定めている。
2. 教育研究上必要な資料を、図書館を中心に系統的に備えるものとする定めている。
3. 図書館の機能を十分に発揮させるために学術司書を置くものとする定めている。
4. レファレンス・ルームには、学生の学習及び教員の教育研究のために十分な数のキャレルを備えるものとする定めている。
5. 大学の教育研究を促進できるような適当な規模の遠隔授業収録施設、オンデマンドサーバー等を図書館に備えるものとする定めている。

〔正答番号〕 1 3 4 5

あるデータベースに対して、検索語 A, B, C を組み合わせた検索式で検索を行ったところ、次のような検索件数となった。このとき正しく言えるのはどれか。

ただし、論理演算子として、and は論理積、or は論理和、not は論理差を表す。また、論理演算子の優先順位は、括弧があればその中が優先とする。

検索式	検索件数
・ A	25 件
・ B	30 件
・ A and B	12 件
・ A and C	10 件
・ B or C	41 件
・ A and B and C	4 件

1. 検索式 A or B で検索した結果は、55 件である。
2. 検索式 A not B で検索した結果は、18 件である。
3. 検索式 (A and B) not C で検索した結果は、6 件である。
4. 検索式 (A or C) not B で検索した結果は、18 件である。
5. 検索式 C で検索した結果は、34 件以上 41 件以下である。

〔 正答番号 〕 1 2 3 5